

2021年4月28日

各 位

会 社 名 セイコーエプソン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小川 恭範  
(コード番号：6724 東証第一部)

## 2021年3月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年1月28日に公表しました2021年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回公表予想(A)	百万円 980,000	百万円 50,000	百万円 38,000	百万円 34,000	百万円 18,000	百万円 18,000	円 52.03
実績値(B)	995,940	61,642	47,654	44,933	30,995	30,922	89.38
増減額(B-A)	15,940	11,642	9,654	10,933	12,995	12,922	—
増減率(%)	1.6	23.3	25.4	32.2	72.2	71.8	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	1,043,600	40,861	39,479	39,713	7,823	7,733	22.26

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

#### 2. 差異の理由

売上収益および事業利益以下の各利益につきましては、在宅印刷需要が継続するなか、インクジェットプリンターはインクカートリッジモデルの本体販売価格が想定を上回るとともに、大容量インクタンクモデルやインクなどの販売が堅調に推移したほか、液晶プロジェクターや水晶デバイス・半導体などの需要回復に加え、全社での効率的な費用執行による費用削減の効果もあり、前回公表予想を上回りました。

なお、当連結会計年度において、ウェアラブル機器事業の収益性の低下、ならびに事業戦略の見直しにより、減損損失75億円を計上いたしました。

以 上